

女性の早期離職に関する考察

— 短大卒者・大卒者を比較して —

中 村 三緒子*

Consideration on Women's Early Job Turnover:
Comparing Junior College With University Graduates

Mioko Nakamura

1. 問題の所在

「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」が改訂され、小学校入学以降を見据えた乳幼児期の発達の連続性に着目した保育の重要性が指摘されている⁽¹⁾。保育者には、子ども一人一人の資質・能力を育み、小学校以降の教育や生涯にわたる学習とのつながりを見通すことが求められる⁽²⁾。

厚生労働省「保育人材確保のための『魅力ある職場づくり』に向けて」⁽³⁾ (2014年)によると平成29年度末で保育の量拡大に伴って必要とされる保育士数は、約46.0万人であり、現在の保育所における保育士の離職率等を考慮して推計した保育士数は、平成29年度末で推計約38.6万人。平成29年度末における保育士数は、約7.4万人不足である。保育士の平均賃金⁽⁴⁾は216.1千円(男女計、平均年齢34.8歳、勤続年数7.6年)、女性の場合、214.4千円(平均年齢35.1歳、勤続年数7.7歳)である。人手不足の現状として、指定保育士養成施設卒業者のうち、約半数は保育所に就職していないこと、保育士資格を有しながら保育士としての就職を希望しない求職者のうち、半数以上が勤続年数5年未満であり、早期離職の傾向が顕著であることがあげられた。保育分野における人材不足の原因・理由として、就業希望者が増えない理由には、保育士資格を有するハローワーク求職者のうち約半数は保育士としての就業を希望していないことがあげられた。保育士職への就業を希望しない理由のうち、就業継続に関する項目としては「責任の重さ・事故への不

安」が最も多く、再就職に関する項目としては「就業時間が希望と合わない」が最も多いことがあげられた。働く職場の環境改善に関する項目としては、「賃金が希望と合わない」が最も多く、「休暇が少ない・休暇がとりにくい」などがあげられた。保育士職への就業を希望しない理由が解消した場合、63.6%の者が保育士を希望していた⁽⁵⁾。このような現状に対して、人材確保のために事業主が活用できる制度が紹介され、人材育成や正規雇用者への助成金なども活用されている。

『学校教員統計調査報告書』(2016年度)によると、幼稚園教員数95,909人、そのうち女性は88,879人である。「30歳未満」の教員割合は、平成16年度53.5%、19年度51.8%、22年度49.8%、25年度47.4%、28年度44.8%と年々低下している。全ての年齢区分で女性教員の占める割合が男性教員より高い。平均年齢は36.3歳で、男女別にみると、男性が48.9歳、女性が35.4歳である。平均勤続年数は10.5年であり、国立15.6年、公立14.2年、私立9.6年である。平均勤続年数は5年未満が44.3%(国立18.2%、公立30.9%、私立47.3%)がもっと多く、5年以上10年未満19.7%(19.4%、18.1%、20.1%)である。幼稚園教諭の学歴は短期大学卒業が最も多く67.8%であり、大学卒28.4%、大学院卒1.1%、その他2.7%である。平均給料月額⁽⁶⁾は222.5千円(平均年齢36.3歳)、国立331.0千円、公立274.1千円、私立210.8千円である。採用者数は10,686人、転入者数3,843人、離職者数10,239人である⁽⁷⁾。離職理由はその他が最も多く、3563人、

* 淑徳大学短期大学部こども学科講師

次いで、家庭の事情 3133 人、転職 2322 人、定年（勤奨を含む）561 人、病気 409 人の順であった。女性の場合も同様であり、その他 3412 人、家庭の事情 3077 人、転職 2180 人、定年（勤奨を含む）493 人、病気 387 人の順であった。

保育者の若年層への偏りや早期離職は長年変わることがなく続いている⁽⁸⁾。幼稚園教諭の若年層の多さや早期離職の問題は幼児によい影響を及ぼさないこと、若い幼稚園教諭にとって目指すべき教師モデルが不在となること、男性教諭の増加が望めなくなる問題が指摘される⁽⁹⁾。

これまで保育者が早期離職する問題と就業継続について研究はなされ、保育者の人材確保に向けて様々な対策が講じられているものの早期離職は継続傾向にある。本研究は、早期離職に関する先行研究を整理し、保育職を早期離職する要因を再検討し、女性の就業について検討したい。

2. 先行研究の検討

川俣（2018）は、主に幼稚園教諭が早期離職・就業継続理由を整理し、代表的なものとして、職場の「労働条件」と「人間関係」の2つを説明した。

1) 「労働条件」については、保育従事者の離転職願望の主訴は、精神的、身体的、時間的負担といった労働条件に関する不満であり（高見ら 1994）、「私立短大卒業生の卒業後の状況調査」の幼稚園教諭・保育士の項では、「担任から助手への格下げや、臨時職・パートとしての採用の増加」「雇用条件・就業規則を提示しない」（日本私立短期大学協会 2005）があげられた。

2) 「人間関係」については、保育者の対人関係の特異性は「単に性格が合わないなどの理由で対人関係が保持できないというのではなく、専門職ゆえの保育観や指導方法の相違や、価値観の押しつけなどに起因するものか大半である」（桐原ら 1994）と分析された。

谷川（2018）は初期キャリアの保育者を対象とした研究を6つの内容に分けた。①早期離職に関する研究、②精神健康に関する研究、③因難感に関する研究、④子どもや同僚との関係の変容に関する研究、⑤保育実践の変容に関する研究、⑥省察に関する研究であり、全体において初期キャリアの保育者

には、「職場の人間関係」が重要であることが指摘された。

川俣（2018）によると、保育者の9割が女性であり、「女性職」と考えられるため、女性職一般で就業継続・離職の主な理由は「労働条件」「やりがい」の2つにまとめられるという。仕事に対してやりがいや充実感を感じていることが重要と指摘していた。

多くの学生は実習経験から職場の労働環境や人間関係などを観察・体感し、給与などについても就職前から理解しているにもかかわらず早期離職する傾向は変わらない。本研究では早期離職する要因と現在無業既婚者の就業意識などから女性の就業継続について検討したい。

3. 使用データと対象者の属性

3.1 使用データ

本研究では高等教育機関を卒業した女性の職業経歴に制度や仕事意識などが与える影響を検討するため、2014年2月中旬～下旬、中部圏A女子大学の卒業生を対象に調査を行った⁽¹⁰⁾。有効回収票は1530票（有効回収率16.3%）であった。

A女子大学は偏差値50⁽¹¹⁾、創立100年の歴史があり、家政学部、文学部、短期大学部を有する。大学の特徴から女子大学にはキャリア女性の養成を目的とした教育がなされている職業系女子大学、教養女性の養成を目的とした教育がなされる教養系女子大学、両グループの中間の特徴をもつ中間的女子大学が存在する（中西 1998）⁽¹²⁾。A女子大学は建学の精神⁽¹³⁾などから中間的女子大学と考えられる。

3.2 対象者の属性

1) 対象者の年齢・結婚状況

本研究は既婚女性の職業経歴に注目するため、対象者は「雇用機会均等法」施行以後に大学を卒業し、就職した世代とした。すなわち、1986年～2011年に大学を卒業した25～50歳の女性である⁽¹⁴⁾。

調査対象者の72.3%は既婚者（離死別・再婚含む）であり、平均初婚年齢は27.3歳。平均子ども数⁽¹⁵⁾は約2人である。

本研究は本田（2010a）を参考に、大卒就職が経験した変動の影響を考慮する。1980年代末から1990年頃にかけてのバブル経済における採用需要

拡大期（「バブル期」）、1993年頃から2004年頃の就職氷河期（「ロストジェネレーション期」）、2005年頃からの「いざなぎ越え」景気下での採用再活発期（「ポスト・ロストジェネレーション期」）、2008年秋に発生した金融危機の影響を受けた頃（「第2ロストジェネレーション期」）と経済情勢のもとで大卒就職は様々な影響を受けてきた。短期大学と大学を卒業した世代を本田の分析を参考に「バブル期」「ロスト期」「ポストロスト期」「第2ロスト期」に分けて分析を行う。

2) 対象者両親の就業形態と職種

既婚者父親の就業形態は短大卒者・大卒者ともに卒業時期にかかわらず7割は正職員である（図表1-1-1）。職種も短大卒者・大卒者ともに「専門技術職」、「営業・販売・サービス職」が2～3割である（短大卒者「ポスト期」は「営業・販売・サービス職」4割、と大卒者「第2ロスト期」は「専門技術職」5割）（図表1-1-2）。

未婚者の父親の就業形態は短大卒者・大卒者ともに卒業時期にかかわらず7～8割は正職員である（短大卒者「バブル期」は5割）（図表1-2-1）。職種は短大卒者の「バブル期」「ロスト期」と「第2ロスト期」は「専門技術職」が3割、「ロスト期」と「ポスト期」は「営業・販売・サービス職」が4割である。大卒者は全ての時期において「専門技術職」が最も多く、「バブル期」は5割、「ロスト期」「ポスト期」「第2ロスト期」は3割である（図表1-2-2）。

母親就業形態について、短大卒者の卒業時期に関係なく「正職員」2割、「無業（専業主婦含む）」2割である（図表1-1-3）。「パート・バイト・臨時・契約」などの非正規職員は「バブル期」2割、「ロスト期」3割、「ポスト期」・「第2ロスト期」4割と増加する。大卒者の場合、「無業（専業主婦含む）」と「自営・家族従事」は「バブル期」から「第2ロスト期」にかけて減少し、「パート・バイト・臨時・契約」などの非正規職員が増加する。職種は短大卒者の場合、「事務職」約3割、「営業・販売・サービス職」は2割、「無業（専業主婦含む）」は減少傾向にある（図表1-1-4）。大卒者の場合、「教師・保育士・看護師」1割、「事務職」2割である。「営業・販売・サービス職」は増加傾向にあり、「無業（専

業主婦含む）」は減少傾向にある。

未婚者の母親就業形態について、短大卒者の「パート・バイト・臨時・契約」などの非正規職員は「ロスト期」3割、「ポスト期」6割、「第2ロスト期」4割であり、「バブル期」では「派遣社員」と「その他」3割である（図表1-2-3）。大卒者の場合は卒業時期に関係なく「正職員」3割であり、「パート・バイト・臨時・契約」などの非正規職員は「バブル期」1割、「ロスト期」3割、「ポスト期」・「第2ロスト期」4割と増加する。職種については短大卒者の「バブル期」は「無業（専業主婦含む）」3割であるが、「ロスト期」「ポスト期」「第2ロスト期」は2割である（図表1-2-4）。「ロスト期」「ポスト期」「第2ロスト期」は「事務職」3割である。大卒者の場合、「バブル期」は「事務職」4割、「ロスト期」2割、「ポスト期」3割である。「ロスト期」「ポスト期」「第2ロスト期」では、「営業・販売・サービス職」である。

父親最終学歴について、短大卒者の場合、「新制高校・旧制中学卒」と「大学・大学院卒」は3～4割（図表1-1-5）、母親最終学歴は「新制高校・旧制女学校卒」は半数と最も多い（図表1-1-6）。大卒者の場合、父親学歴は「バブル期」から「第2ロスト期」にかけて「新制高校・旧制中学卒」が減少し、「大学・大学院卒」は増加する。母親学歴は「新制高校・旧制女学校卒」が減少し、「短大卒」「大学・大学院卒」が増加する。

未婚者父親最終学歴について、短大卒者の場合、「新制高校・旧制中学卒」と「大学・大学院卒」は3～4割（図表1-2-5）、未婚者母親最終学歴は短大卒者では「バブル期」「ロスト期」「第2ロスト期」は「新制高校・旧制女学校卒」半数、「ポスト期」は「短大卒」「新制高校・旧制女学校卒」4割である（図表1-2-6）。大卒者の場合、父親学歴は「バブル期」「ロスト期」は「新制中学卒」「旧制高校・旧制専門学校」が4割、「ポスト期」「第2ロスト期」は「新制中学卒」は2割、「旧制高校・旧制専門学校」は5～6割である。未婚大卒者の母親最終学歴は「バブル期」「ロスト期」は「新制高校・旧制女学校卒」5～6割、「ポスト期」「第2ロスト期」では「新制高校・旧制女学校卒」約4割、「短大卒」は約3割、「ポスト期」に「大学・大学院卒」2割である。

図表 1-1-1 父親就業形態

単位：%

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|---------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|
| | バブル期 (N=147) | ロスト期 (N=202) | ポスト期 (N=39) | 第2ロスト期 (N=18) | バブル期 (N=194) | ロスト期 (N=322) | ポスト期 (N=63) | 第2ロスト期 (N=22) |
| 正職員 | 66.7 | 72.3 | 76.9 | 72.2 | 71.6 | 73.0 | 73.0 | 77.3 |
| パート・バイト・臨時・契約 | 0.7 | 0.5 | 2.6 | | 1.0 | 0.6 | | |
| 自営・家族従事 | 32.0 | 24.3 | 17.9 | 27.8 | 26.3 | 25.2 | 25.4 | 22.7 |
| その他 | 0.7 | 1.5 | 2.6 | | 1.0 | 1.2 | 1.6 | |
| 無業(専業主婦含) | | 1.5 | | | | | | |

図表 1-1-2 父親職種

単位：%

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|-------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|
| | バブル期 (N=147) | ロスト期 (N=202) | ポスト期 (N=39) | 第2ロスト期 (N=18) | バブル期 (N=194) | ロスト期 (N=320) | ポスト期 (N=63) | 第2ロスト期 (N=22) |
| 教師・保育士・看護 | 1.4 | 2.0 | 5.1 | | 11.3 | 5.0 | 3.2 | 4.5 |
| 専門技術職 | 29.9 | 27.7 | 25.6 | 33.3 | 23.2 | 25.9 | 28.6 | 54.5 |
| 管理的職業 | 17.7 | 10.4 | 10.3 | 11.1 | 14.4 | 13.8 | 12.7 | 18.2 |
| 事務職 | 8.2 | 8.9 | 2.6 | 5.6 | 10.3 | 9.1 | 9.5 | |
| 営業・販売・サービス職 | 27.9 | 30.2 | 41.0 | 33.3 | 21.1 | 21.9 | 23.8 | 13.6 |
| 生産現場職 | 10.9 | 14.4 | 5.1 | 11.1 | 13.4 | 19.1 | 12.7 | 4.5 |
| その他 | 4.1 | 6.4 | 10.3 | 5.6 | 6.2 | 5.3 | 9.5 | 54.5 |

図表 1-2-1 未婚者父親就業形態

単位：%

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|----------------|-------------------|
| | バブル期 (N=18) | ロスト期 (N=63) | ポスト期 (N=29) | 第2ロスト期 (N=84) | バブル期 (N=16) | ロスト期 (N=99) | ポスト期 (N=69) | 第2ロスト期 (N=113) |
| 正職員 | 50.0 | 65.1 | 86.2 | 81.0 | 75.0 | 75.8 | 78.3 | 80.5 |
| パート・バイト・臨時・契約 | | | 3.4 | 1.2 | | 3.0 | | 1.8 |
| 派遣社員 | | | | 1.2 | | | | 0.9 |
| 自営・家族従事 | 50.0 | 34.9 | 10.3 | 16.7 | 25.0 | 20.2 | 20.3 | 16.8 |
| その他 | | | | | | 1.0 | 1.4 | |

図表 1-2-2 未婚者父親職種

単位：%

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|-------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|----------------|-------------------|
| | バブル期 (N=18) | ロスト期 (N=63) | ポスト期 (N=29) | 第2ロスト期 (N=84) | バブル期 (N=16) | ロスト期 (N=99) | ポスト期 (N=69) | 第2ロスト期 (N=113) |
| 教師・保育士・看護師 | 5.6 | 4.8 | 6.9 | 2.4 | | 5.1 | 10.1 | 6.2 |
| 専門技術職 | 33.3 | 31.7 | 17.2 | 33.3 | 56.3 | 31.3 | 37.7 | 31.9 |
| 管理的職業 | 11.1 | 9.5 | 20.7 | 11.9 | 12.5 | 8.1 | 10.1 | 10.6 |
| 事務職 | 11.1 | 4.8 | 3.4 | 7.1 | 6.3 | 8.1 | 7.2 | 12.4 |
| 営業・販売・サービス職 | 22.2 | 38.1 | 41.4 | 19 | 12.5 | 27.3 | 26.1 | 25.7 |
| 生産現場職 | 11.1 | 9.5 | 6.9 | 14.3 | | 14.1 | 8.7 | 10.6 |
| その他 | 5.6 | 1.6 | 3.4 | 11.9 | 12.5 | 6.1 | | 2.7 |

図表 1-1-3 母親就業形態

単位: %

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|---------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|
| | バブル期 (N=148) | ロスト期 (N=203) | ポスト期 (N=39) | 第2ロスト期 (N=18) | バブル期 (N=193) | ロスト期 (N=323) | ポスト期 (N=63) | 第2ロスト期 (N=22) |
| 正職員 | 23.0 | 24.1 | 20.5 | 22.2 | 31.1 | 24.1 | 27.0 | 31.8 |
| パート・バイト・臨時・契約 | 20.9 | 33.5 | 46.2 | 44.4 | 22.8 | 33.7 | 36.5 | 36.4 |
| 自営・家族従事 | 27.0 | 17.2 | 10.3 | 16.7 | 23.3 | 19.5 | 15.9 | 13.6 |
| その他 | 4.7 | 1.5 | | | 2.1 | 2.5 | 3.2 | |
| 無業(専業主婦含) | 24.3 | 23.6 | 23.1 | 16.7 | 20.7 | 20.1 | 17.5 | 18.2 |

図表 1-1-4 母親職種

単位: %

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|-------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|
| | バブル期 (N=148) | ロスト期 (N=203) | ポスト期 (N=39) | 第2ロスト期 (N=18) | バブル期 (N=194) | ロスト期 (N=321) | ポスト期 (N=63) | 第2ロスト期 (N=22) |
| 教師・保育士・看護師 | 1.4 | 5.4 | 5.1 | | 11.3 | 9.3 | 14.3 | 13.6 |
| 専門技術職 | 8.1 | 5.4 | 10.3 | 11.1 | 8.8 | 7.2 | 9.5 | |
| 管理的職業 | | 1.0 | 2.6 | | 1.0 | 1.9 | | 4.5 |
| 事務職 | 29.7 | 25.6 | 25.6 | 38.9 | 24.7 | 17.4 | 19.0 | 22.7 |
| 営業・販売・サービス職 | 24.3 | 22.7 | 28.2 | 22.2 | 19.1 | 25.2 | 25.4 | 31.8 |
| 生産現場職 | 7.4 | 12.8 | 2.6 | 11.1 | 10.3 | 13.4 | 6.3 | 4.5 |
| その他 | 6.1 | 4.9 | 7.7 | | 3.6 | 5.3 | 9.5 | 9.1 |
| 無業(専業主婦含) | 23.0 | 22.2 | 17.9 | 16.7 | 21.1 | 20.2 | 15.9 | 13.6 |

図表 1-2-3 未婚者母親就業形態

単位: %

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|-----------------|----------------|-------------------|
| | バブル期 (N=18) | ロスト期 (N=62) | ポスト期 (N=29) | 第2ロスト期 (N=83) | バブル期 (N=15) | ロスト期 (N=100) | ポスト期 (N=69) | 第2ロスト期 (N=112) |
| 正職員 | 11.1 | 24.2 | 17.2 | 28.9 | 33.3 | 35.0 | 33.3 | 25.0 |
| パート・バイト・臨時・契約 | 11.1 | 30.6 | 62.1 | 43.4 | 13.3 | 34.0 | 42.0 | 47.3 |
| 派遣社員 | 38.9 | 24.2 | 3.4 | 8.4 | | | | 1.8 |
| 自営・家族従事 | 5.6 | 3.2 | 17.2 | 1.2 | 33.3 | 17.0 | 14.5 | 11.6 |
| その他 | 33.3 | 17.7 | | 18.1 | | 2.0 | 1.4 | |
| 無業(専業主婦含) | | | | | 20.0 | 12.0 | 8.7 | 14.3 |

図表 1-2-4 未婚者母親職種

単位: %

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|-------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|-----------------|----------------|-------------------|
| | バブル期 (N=18) | ロスト期 (N=62) | ポスト期 (N=29) | 第2ロスト期 (N=84) | バブル期 (N=15) | ロスト期 (N=101) | ポスト期 (N=69) | 第2ロスト期 (N=112) |
| 教師・保育士・看護師 | 5.6 | 6.5 | 6.9 | 4.8 | 13.3 | 8.9 | 11.6 | 13.4 |
| 専門技術職 | 16.7 | 8.1 | 10.3 | 6 | 13.3 | 7.9 | 13.0 | 8.0 |
| 管理的職業 | | | 3.4 | 2.4 | 6.7 | 1.0 | | 1.8 |
| 事務職 | 11.1 | 30.6 | 27.6 | 38.1 | 46.7 | 24.8 | 31.9 | 33 |
| 営業・販売・サービス職 | 22.2 | 25.8 | 17.2 | 16.7 | | 26.7 | 24.6 | 19.6 |
| 生産現場職 | 11.1 | 6.5 | 10.3 | 3.6 | 6.7 | 10.9 | 4.3 | 7.1 |
| その他 | | 1.6 | 3.4 | 7.1 | | 5.9 | 5.8 | 2.7 |
| 無業(専業主婦含) | 33.3 | 21.0 | 20.7 | 21.4 | 13.3 | 13.9 | 8.7 | 14.3 |

図表 1-1-5 父親最終学歴

単位：％

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|-------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|
| | バブル期 (N=142) | ロスト期 (N=196) | ポスト期 (N=39) | 第2ロスト期 (N=18) | バブル期 (N=190) | ロスト期 (N=316) | ポスト期 (N=61) | 第2ロスト期 (N=22) |
| 新制中学校 | 20.4 | 7.1 | 10.3 | | 16.8 | 8.2 | 4.9 | 9.1 |
| 新制高校・旧制中学 | 43.7 | 43.9 | 33.3 | 38.9 | 43.2 | 39.9 | 34.4 | 18.2 |
| 短大・高専 | 2.8 | 3.6 | 7.7 | 16.7 | 1.1 | 5.1 | 3.3 | 4.5 |
| 旧制高校・旧制専門学校 | 9.2 | 7.7 | 2.6 | 11.1 | 6.3 | 8.2 | 4.9 | 4.5 |
| 大学・大学院 | 22.5 | 34.7 | 46.2 | 33.3 | 32.6 | 37.3 | 52.5 | 63.6 |
| その他 | 1.4 | 3.1 | | | | 1.3 | | |

図表 1-1-6 母親最終学歴

単位：％

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|
| | バブル期 (N=147) | ロスト期 (N=202) | ポスト期 (N=39) | 第2ロスト期 (N=18) | バブル期 (N=186) | ロスト期 (N=314) | ポスト期 (N=62) | 第2ロスト期 (N=22) |
| 新制中学校 | 23.8 | 8.1 | 2.6 | | 16.7 | 6.4 | 4.8 | 4.5 |
| 新制高校・旧制女学校 | 58.7 | 57.1 | 51.3 | 58.8 | 55.9 | 54.5 | 45.2 | 27.3 |
| 短大 | 5.6 | 18.2 | 25.6 | 23.5 | 8.6 | 16.2 | 22.6 | 27.3 |
| 専門学校 | 9.1 | 9.6 | 7.7 | 11.8 | 12.4 | 9.2 | 9.7 | 13.6 |
| 大学・大学院 | 2.1 | 5.1 | 12.8 | 5.9 | 6.5 | 12.7 | 16.1 | 27.3 |
| その他 | 0.7 | 2.0 | | | | 1.0 | 1.6 | |

図表 1-2-5 未婚者父親最終学歴

単位：％

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|-------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|----------------|-------------------|
| | バブル期 (N=17) | ロスト期 (N=60) | ポスト期 (N=29) | 第2ロスト期 (N=79) | バブル期 (N=16) | ロスト期 (N=97) | ポスト期 (N=67) | 第2ロスト期 (N=108) |
| 新制中学校 | 29.4 | 10.0 | 3.4 | 3.8 | 43.8 | 41.2 | 25.4 | 25.9 |
| 新制高校・旧制中学 | 47.1 | 45.0 | 34.5 | 40.5 | 6.3 | 4.1 | 7.5 | 7.4 |
| 短大・高専 | | 5.0 | 6.9 | 8.9 | 6.3 | 5.2 | 9.0 | 5.6 |
| 旧制高校・旧制専門学校 | | 8.3 | 6.9 | 12.7 | 43.8 | 36.1 | 53.7 | 60.2 |
| 大学・大学院 | 23.5 | 30.0 | 48.3 | 34.2 | | 1.0 | 1.5 | |
| その他 | | 1.7 | | | | | | |

図表 1-2-6 未婚者母親最終学歴

単位：％

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|----------------|-------------------|
| | バブル期 (N=17) | ロスト期 (N=59) | ポスト期 (N=29) | 第2ロスト期 (N=76) | バブル期 (N=15) | ロスト期 (N=98) | ポスト期 (N=68) | 第2ロスト期 (N=111) |
| 新制中学校 | 23.5 | 11.9 | | | 6.7 | 10.2 | 1.5 | |
| 新制高校・旧制女学校 | 64.7 | 54.2 | 37.9 | 55.3 | 60.0 | 53.1 | 38.2 | 35.1 |
| 短大 | | 25.4 | 41.4 | 26.3 | 20.0 | 15.3 | 29.4 | 34.2 |
| 専門学校 | 11.8 | 3.4 | 3.4 | 7.9 | 6.7 | 10.2 | 7.4 | 14.4 |
| 大学・大学院 | | 5.1 | 17.2 | 10.5 | 6.7 | 9.2 | 23.5 | 14.4 |
| その他 | | | | | | 2.0 | | 1.8 |

3) 対象者の初職の就業形態と初職の職種

既婚者の場合、「バブル期」に短大を卒業した者は他の時期と比較して「正職員」の割合が最も高い(図表 1-3-1)。短大卒者の「パート・アルバイト、臨時職・契約」などの非正規職員は「バブル期」から「第2ロスト期」にかけて増加傾向にある。大卒者は一貫して「正職員」8割、「バブル期」から「ポスト期」まで非正規職員の割合は短大卒者より多い。

既婚者初職の職種は短大卒の場合、「バブル期」から「ポスト期」にかけて「事務職」は減少傾向に、第2ロスト期は「専門技術職」が多い(図表 1-3-2)。大卒者の場合「バブル期」と「ポスト期」は「教師・保育士・看護師」が最も多く、「ロスト期」は「事務職」、「第2ロスト期」は「営業・販売・サービス職」が最も多い。

大卒者は「教師・保育士・看護師」「専門技術職」といった専門職が多かったが、「ポスト期」「第2ロスト期」になると「営業・販売・サービス職」が増加する傾向にある。

未婚者初職就業形態は、既婚者同様「バブル期」に短大を卒業した者は他の時期と比較して「正職員」の割合が約9割と最も高く、「ロスト期」から

「第2ロスト期」まで「正職員」は7～8割である(図表 1-4-1)。大卒者は「バブル期」に「パート・アルバイト、臨時職・契約」などの非正規職員が5割と半数であり、「ロスト期」から「第2ロスト期」は一貫して「正職員」7割である。「パート・アルバイト、臨時職・契約」などの非正規職員は「ロスト期」から「第2ロスト期」まで2割である。

未婚者初職職種短大卒の場合、「バブル期」から「ポスト期」まで「事務職」が多く、5割から3割に減少し、「第2ロスト期」に「教師・保育士」が3割と最も多い(図表 1-4-2)。大卒者の場合も「バブル期」「ロスト期」は事務職が4割と最も多く、「ポスト期」「第2ロスト期」には「教師・保育士」「専門技術職」が各2割である。また、「ロスト期」から「第2ロスト期」まで一貫して「営業・販売・サービス職」は2割である。

4) 対象者の現在の就業形態と現在の職種

現在の既婚者就業形態について短大卒者は「バブル期」に「パート・アルバイト・臨時・契約」などの非正規職員が49.7%と最も多く、「ロスト期」「ポスト期」「第2ロスト期」は「無業(専業主婦含む)」が多い(図表 1-3-3)。大卒者も「バブル期」は

図表 1-3-1 既婚者初職就業形態

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|
| | バブル期 (N=148) | ロスト期 (N=203) | ポスト期 (N=38) | 第2ロスト期 (N=18) | バブル期 (N=192) | ロスト期 (N=322) | ポスト期 (N=63) | 第2ロスト期 (N=21) |
| 正職員 | 95.3 | 88.2 | 92.1 | 72.2 | 83.4 | 83.5 | 81.0 | 76.2 |
| パート・アルバイト・臨時・契約 | 2.7 | 7.4 | 7.9 | 16.7 | 14.5 | 14.0 | 17.5 | 9.5 |
| 派遣社員 | 0.7 | 3.0 | | | 0.5 | 0.9 | | 4.8 |
| 自営・家族従事 | 1.4 | 1.0 | | | 1.0 | | | |
| その他 | | | | | 0.5 | 0.6 | | 4.8 |
| 無業(専業主婦含) | | 0.5 | | 5.6 | | 0.9 | 1.6 | 4.8 |

図表 1-3-2 既婚者初職職種

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|-------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|
| | バブル期 (N=148) | ロスト期 (N=203) | ポスト期 (N=38) | 第2ロスト期 (N=18) | バブル期 (N=193) | ロスト期 (N=322) | ポスト期 (N=63) | 第2ロスト期 (N=21) |
| 教師・保育士・看護師 | 2.7 | | 5.3 | 11.1 | 40.4 | 24.2 | 33.3 | 23.8 |
| 専門技術職 | 10.1 | 14.8 | 10.5 | 33.3 | 19.2 | 22.7 | 12.7 | 14.3 |
| 管理的職業 | | 0.5 | | 11.1 | 1.0 | 0.6 | | |
| 事務職 | 60.1 | 58.6 | 47.4 | 11.1 | 25.9 | 32.3 | 25.4 | 23.8 |
| 営業・販売・サービス職 | 23.0 | 24.1 | 28.9 | 22.2 | 10.4 | 16.8 | 20.6 | 28.6 |
| 生産現場職 | 0.7 | 0.5 | | 5.6 | 1.6 | 0.6 | | |
| その他 | 3.4 | 1.5 | 7.9 | 5.6 | 1.6 | 1.9 | 6.3 | 4.8 |
| 無業(専業主婦含) | | | | | | 0.9 | 1.6 | 4.8 |

図表 1-4-1 未婚者初職就業形態

| | 単位：％ | | | | | | | |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|----------------|------------------|
| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
| | バブル期 (N=15) | ロスト期 (N=57) | ポスト期 (N=23) | 第2ロスト期 (N=66) | バブル期 (N=13) | ロスト期 (N=87) | ポスト期 (N=62) | 第2ロスト期 (N=78) |
| 正職員 | 86.7 | 66.7 | 78.3 | 78.8 | 46.2 | 67.8 | 67.7 | 76.9 |
| パート・アルバイト・臨時・契約 | 13.3 | 28.1 | 17.4 | 19.7 | 53.8 | 20.7 | 27.4 | 19.2 |
| 派遣社員 | | 3.5 | | 1.5 | | 9.2 | 1.6 | 1.3 |
| 自営・家族従事 | | | | | | 1.1 | | |
| その他 | | | 4.3 | | | 1.1 | 1.6 | 2.6 |
| 無業 | | 1.8 | | | | | 1.6 | |

図表 1-4-2 未婚者初職職種

| | 単位：％ | | | | | | | |
|-------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|----------------|------------------|
| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
| | バブル期 (N=15) | ロスト期 (N=55) | ポスト期 (N=29) | 第2ロスト期 (N=66) | バブル期 (N=12) | ロスト期 (N=87) | ポスト期 (N=61) | 第2ロスト期 (N=78) |
| 教師・保育士・看護師 | 6.7 | 1.8 | 13 | 36.4 | 8.3 | 18.4 | 26.2 | 29.5 |
| 専門技術職 | 6.7 | 18.2 | 13 | 13.6 | 33.3 | 14.9 | 26.2 | 21.8 |
| 管理的職業 | | | | | | 2.3 | | |
| 事務職 | 53.3 | 43.6 | 30.4 | 22.7 | 41.7 | 37.9 | 24.6 | 16.7 |
| 営業・販売・サービス職 | 33.3 | 30.9 | 43.5 | 19.7 | | 20.7 | 19.7 | 28.2 |
| 生産現場職 | | | | 3 | 16.7 | 1.1 | | |
| その他 | | 3.6 | | 4.5 | | 4.6 | 1.6 | 3.8 |
| 無業 | | 1.8 | | | | | 1.6 | |

「パート・アルバイト・臨時」などの非正規職員が43.5%と多いのに対して、「ロスト期」「ポスト期」「第2ロスト期」は「正職員」と「無業（専業主婦含）」が多い。

既婚者現在の職種について短大卒者の場合、「バブル期」は「事務職」（35.4%）が最も多く、次いで「営業・販売・サービス職」（21.8%）、「無業（専業主婦含む）」（20.4%）である（図表 1-3-4）。「バブル期」以降の「ロスト期」「ポスト期」「第2ロスト期」は「無業（専業主婦含む）」が最も多く、次いで「事務職」、「営業・販売・サービス職」である。大卒者の場合、「バブル期」は「教師・保育士・看護師」（25.9%）が最も多く、次いで、「営業・販売・サービス職」（18.0%）、「事務職」（16.4%）であり、「ロスト期」「ポスト期」「第2ロスト期」は「無業（専業主婦含む）」が最も多い。

未婚者現在の就業形態は、短大卒者・大卒者ともに卒業時期に関係なく「正職員」が最も多く、次いで「パート・アルバイト・臨時・契約」などの非正規職員である（図表 1-4-3）。未婚者現在の職種は、短大卒者・大卒者ともに卒業時期に関係なく「事務職」が多い（図表 1-4-4）。短大卒者は「ポス

ト期」から、大卒者は一貫して「教師・保育士」が増加傾向にある。

5) 出身大学に進学した理由

出身大学に進学した理由について、短大卒者の場合、「バブル期」から「ロスト期」まで「興味ある分野が勉強できるから」（30.4%、33.2%）、次いで「成績に合っていたから」（21.6%、14.9%）であった（図表 1-5-1）。「ポスト期」は、「興味ある分野が勉強できるから」（43.6%）、次いで「資格を取りたかった」（20.5%）、「第2ロスト期」は「資格を取りたかった」（38.9%）、「興味ある分野が勉強できるから」（33.3%）であった。

大卒者の場合、「バブル期」は「資格を取りたかった」（45.4%）、次いで「興味ある分野が勉強できるから」（18.0%）であった。「ロスト期」は「興味ある分野が勉強できるから」（30.3%）、「資格を取りたかった」（29.7%）の順であり、「ポスト期」は「資格を取りたかった」（34.9%）、「興味ある分野が勉強できるから」（30.2%）。「第2ロスト期」は「興味ある分野が勉強できるから」（36.4%）、「資格を取りたかった」（31.8%）である。短大卒者の

図表 1-3-3 既婚者現職就業形態

単位：%

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|---------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|
| | バブル期 (N=147) | ロスト期 (N=200) | ポスト期 (N=38) | 第2ロスト期 (N=18) | バブル期 (N=191) | ロスト期 (N=322) | ポスト期 (N=63) | 第2ロスト期 (N=21) |
| 正職員 | 17.0 | 13.0 | 31.6 | 11.1 | 25.1 | 31.9 | 50.0 | 45.5 |
| パート・バイト・臨時・契約 | 49.0 | 34.0 | 18.4 | 22.2 | 43.5 | 24.7 | 8.1 | 22.7 |
| 派遣社員 | 0.7 | 3.0 | 5.3 | | 1.0 | 1.3 | | 4.5 |
| 自営・家族従事 | 11.6 | 5.5 | 2.6 | 5.6 | 12.0 | 6.6 | | |
| その他 | 2.0 | 1.0 | 5.3 | 5.6 | 2.1 | 0.9 | | |
| 無業(専業主婦含) | 19.7 | 43.5 | 36.8 | 55.6 | 16.2 | 34.7 | 41.9 | 27.3 |

図表 1-3-4 既婚者現職職種

単位：%

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|-------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|
| | バブル期 (N=147) | ロスト期 (N=198) | ポスト期 (N=38) | 第2ロスト期 (N=18) | バブル期 (N=189) | ロスト期 (N=322) | ポスト期 (N=63) | 第2ロスト期 (N=21) |
| 教師・保育士・看護師 | 2.0 | | 2.6 | | 25.9 | 16.0 | 22.6 | 22.7 |
| 専門技術職 | 7.5 | 7.1 | 5.3 | 16.7 | 13.2 | 15.4 | 4.8 | 9.1 |
| 管理的職業 | 2.0 | | | | 1.6 | | | |
| 事務職 | 35.4 | 28.8 | 31.6 | 16.7 | 16.4 | 20.4 | 16.1 | 22.7 |
| 営業・販売・サービス職 | 21.8 | 16.2 | 21.1 | 5.6 | 18.0 | 8.8 | 11.3 | 18.2 |
| 生産現場職 | 2.0 | 3.0 | 2.6 | | 1.6 | 3.1 | 3.2 | |
| その他 | 8.8 | 2.0 | 5.3 | 5.6 | 7.9 | 3.4 | 3.2 | |
| 無業(専業主婦含) | 20.4 | 42.9 | 31.6 | 55.6 | 15.3 | 32.9 | 38.7 | 27.3 |

図表 1-4-3 未婚者現職就業形態

単位：%

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|----------------|-------------------|
| | バブル期 (N=16) | ロスト期 (N=62) | ポスト期 (N=28) | 第2ロスト期 (N=73) | バブル期 (N=16) | ロスト期 (N=99) | ポスト期 (N=66) | 第2ロスト期 (N=101) |
| 正職員 | 62.5 | 51.6 | 71.4 | 68.5 | 43.8 | 58.6 | 65.2 | 86.1 |
| パート・バイト・臨時・契約 | 18.8 | 30.6 | 21.4 | 19.2 | 31.3 | 20.2 | 21.2 | 6.9 |
| 派遣社員 | | 6.5 | | 4.1 | 6.3 | 10.1 | 3.0 | 3.0 |
| 自営・家族従事 | 6.3 | 6.5 | | 1.4 | 18.8 | 3.0 | 3.0 | |
| その他 | | | | 2.7 | | 2.0 | 3.0 | 3.0 |
| 無業 | 12.5 | 4.8 | 7.1 | 4.1 | | 6.1 | 4.5 | 1.0 |

図表 1-4-4 未婚者現職職種

単位：%

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|-------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|-----------------|----------------|-------------------|
| | バブル期 (N=16) | ロスト期 (N=62) | ポスト期 (N=28) | 第2ロスト期 (N=73) | バブル期 (N=16) | ロスト期 (N=100) | ポスト期 (N=66) | 第2ロスト期 (N=101) |
| 教師・保育士・看護師 | | 1.6 | 14.3 | 26.0 | 12.5 | 18.0 | 27.3 | 36.6 |
| 専門技術職 | 6.3 | 21 | 14.3 | 15.1 | 12.5 | 20.0 | 21.2 | 9.8 |
| 管理的職業 | | | 32.1 | 1.4 | 12.5 | 1.0 | | |
| 事務職 | 56.3 | 40.3 | 28.6 | 31.5 | 31.3 | 39.0 | 25.8 | 18.8 |
| 営業・販売・サービス職 | 18.8 | 27.4 | | 13.7 | 12.5 | 14.0 | 13.6 | 19.8 |
| 生産現場職 | | | 3.6 | 2.7 | | 1.0 | 3.0 | |
| その他 | 6.3 | 4.8 | | 5.5 | 18.8 | 2.0 | 7.6 | 4.0 |
| 無業 | 12.5 | 4.8 | 7.1 | 4.1 | | 5.0 | 1.5 | 1.0 |

図表 1-5-1 既婚者進学理由第1位

| | 単位：% | | | | | | | |
|----------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------|
| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
| | バブル期 (N=148) | ロスト期 (N=202) | ポスト期 (N=39) | 第2ロスト期 (N=18) | バブル期 (N=194) | ロスト期 (N=323) | ポスト期 (N=63) | 第2ロスト期 (N=22) |
| 早くから就職したかった | 4.1 | 6.4 | 7.7 | 5.6 | 1.5 | | | |
| 資格を取りたかった | 11.5 | 10.9 | 20.5 | 38.9 | 45.4 | 29.7 | 34.9 | 31.8 |
| 大学に歴史があるから | 1.4 | 1.0 | | | | 0.6 | | |
| 家から近いから | 2.0 | 2.0 | 2.6 | 11.1 | 0.5 | 1.2 | | |
| 家族が卒業生 | | 1.0 | | | | 0.3 | 1.6 | |
| 就職に有利 | 4.7 | 7.4 | 2.6 | 5.6 | 2.6 | 5.3 | 6.3 | 13.6 |
| 高校の先生に勧められて | 8.1 | 6.9 | 5.1 | | 13.4 | 4.6 | 6.3 | |
| 入学し易かったから | 9.5 | 8.9 | | | 3.6 | 9.6 | 11.1 | 4.5 |
| 成績に合っていたから | 21.6 | 14.9 | 10.3 | 5.6 | 11.3 | 14.6 | 6.3 | 4.5 |
| 興味ある分野が勉強できるから | 30.4 | 33.2 | 43.6 | 33.3 | 18.0 | 30.3 | 30.2 | 36.4 |
| その他 | 6.8 | 7.4 | 7.7 | | 3.6 | | 3.2 | 9.1 |

図表 1-5-2 未婚者進学理由第1位

| | 単位：% | | | | | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|-----------------|----------------|-------------------|
| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
| | バブル期 (N=18) | ロスト期 (N=63) | ポスト期 (N=29) | 第2ロスト期 (N=84) | バブル期 (N=16) | ロスト期 (N=101) | ポスト期 (N=70) | 第2ロスト期 (N=113) |
| 早くから就職したかった | | 1.6 | 17.2 | 16.7 | | | 1.4 | |
| 資格を取りたかった | | 9.5 | 20.7 | 34.5 | 25.0 | 23.8 | 34.3 | 33.6 |
| 家から近いから | 22.2 | 1.6 | 13.8 | 1.2 | | 1.0 | 5.7 | 1.8 |
| 家族が卒業生 | | | | | 6.3 | 1.0 | 1.4 | |
| 就職に有利 | 5.6 | 4.8 | 3.4 | 3.6 | | 3.0 | 1.4 | 5.3 |
| 高校の先生に勧められて | 22.2 | 3.2 | 3.4 | 1.2 | 6.3 | 6.9 | 2.9 | 3.5 |
| 入学し易かったから | 11.1 | 17.5 | 3.4 | 7.1 | 6.3 | 7.9 | 8.6 | 1.8 |
| 成績に合っていたから | 11.1 | 14.3 | 13.8 | 1.2 | 18.8 | 18.8 | 7.1 | 4.4 |
| 興味ある分野が勉強できるから | 16.7 | 41.3 | 13.8 | 29.8 | 25.0 | 29.7 | 31.4 | 45.1 |
| その他 | 11.1 | 6.3 | 10.3 | 4.8 | 12.5 | 7.9 | 5.7 | 4.4 |

「ポスト期」以降と大卒者全体は資格取得を目的に大学に進学していたといえよう。

未婚者短大卒者の場合、「バブル期」は「家から近いから」「高校の先生に勧められて」（各22.2%）であったが、「ロスト期」は「興味ある分野が勉強できるから」（41.3%）、「ポスト期」と「第2ロスト期」では「資格を取りたかったから」（20.7%、34.5%）と入学理由が変化していた（図表1-5-2）。大卒者の場合、卒業時期に関係なく「興味ある分野が勉強できるから」と「資格を取りたかった」が多い。未婚・既婚に関係なく、短大卒者の「ポスト期」以降と大卒者全体は資格取得を目的に大学に進学していたといえよう。

4. 分析の枠組み

本研究は高学歴女性の早期離職に与える影響と離職の仕事復帰を検討するため、調査対象者のうち、

未婚者の転職経験と既婚現在無職者を主に分析する。未婚者は早期離職に注目するため、「ポスト期」と「第2ロスト期」を対象とし、転職経験を設定した。

4.1 変数の設定

1) 労働条件

先行研究では2つの離職要因が説明され、1つは労働条件があげられ、労働時間の長さなどが指摘されたことから「休みの多さ」（「あてはまる」「あてはまらない」）を設定した。

2) 人間関係

先行研究で説明される離職要因の1つ「人間関係」であり、上司・先輩・同僚などの人間関係に関する不満が指摘されることから「人間関係のよさ」（「あてはまる」「あてはまらない」）を設定した。

3) やりがい

先行研究では女性の仕事離職理由に「やりがいの

なさ」があげられてきたことから、「やりがいがある」(「あてはまる」「あてはまらない」)を設定した。

4) 能力や個性

先行研究では保育者の資質・能力が求められてきたことから、「能力・個性を活かせる」(「あてはまる」「あてはまらない」)を設定した。

5. 分析結果

1) 未婚者転職経験

未婚者短大卒者・大卒者ともに半数以上は転職経験がなく、短大卒者の「ポスト期」44.8%、「第2ロスト期」は69.5%、大卒者の「ポスト期」57.4%、「第2ロスト期」85.7%であり、初職の仕事が続いている(図表2-1-1)。

2) 「労働条件」、「人間関係」、「やりがい」「個性・能力」との関係

本研究は未婚者「ポスト期」「第2ロスト期」の転職経験と「労働条件」「人間関係」「やりがい」「個性・能力」との関係を分析した結果、「労働条件」「人間関係」「やりがい」「個性・能力」すべてにおいて有意ではなかった。対象者数が少なく、半数以上が転職していなかった点も問題だったと思われる(図表2-2-1~図表2-2-4)。

3) 既婚者希望就業

既婚者のうち、現在無業者の就業希望は学歴・卒業時期に関係なく、「今は働けないがそのうち働きたい」が「ロスト期」「ポスト期」が最も多く、「バブル期」を除いて就業希望である(図表2-3-1)。希望就業形態も学歴・卒業時期関係なく「パートとし

図表 2-1-1 未婚者転職経験

| | 単位:% | | | |
|------|----------------|------------------|----------------|-------------------|
| | 短大卒者 | | 大卒者 | |
| | ポスト期 (N=29) | 第2ロスト期 (N=82) | ポスト期 (N=68) | 第2ロスト期 (N=112) |
| 転職なし | 44.8 | 69.5 | 57.4 | 85.7 |
| 1回 | 27.6 | 19.5 | 25 | 11.6 |
| 2回以上 | 27.6 | 11.0 | 17.6 | 2.7 |

図表 2-2-1 休みの多さと転職経験との関係

| | | | 単位:% | | | |
|------|--------|----------------|------|------|------|------------------------------|
| | | | 転職なし | 1回 | 2回以上 | |
| 短大卒者 | ポスト期 | あてはまる (N=12) | 58.3 | 33.3 | 8.3 | $\chi^2=3.14$ p=.21 |
| | | あてはまらない (N=16) | 37.5 | 25.0 | 37.5 | |
| | 第2ロスト期 | あてはまる (N=38) | 63.2 | 28.9 | 7.9 | $\chi^2=3.37$ p=.19 |
| | | あてはまらない (N=40) | 75.0 | 12.5 | 12.5 | |
| 大卒者 | ポスト期 | あてはまる (N=34) | 27.1 | 32.4 | 20.6 | $\chi^2=2=3.06$ 14.7p=.22 |
| | | あてはまらない (N=34) | 67.6 | 17.6 | 14.7 | |
| | 第2ロスト期 | あてはまる (N=45) | 80.0 | 1.8 | 2.2 | $\chi^2=3.68$ p=.26 |
| | | あてはまらない (N=66) | 89.4 | 7.6 | 3.0 | |

図表 2-2-2 人間関係のよさと転職経験との関係

| | | | 単位:% | | | |
|------|--------|----------------|------|------|------|------------------------|
| | | | 転職なし | 1回 | 2回以上 | |
| 短大卒者 | ポスト期 | あてはまる (N=16) | 43.8 | 37.5 | 18.8 | $\chi^2=1.68$ p=.43 |
| | | あてはまらない (N=12) | 50.0 | 16.7 | 33.3 | |
| | 第2ロスト期 | あてはまる (N=62) | 69.4 | 22.6 | 8.1 | $\chi^2=2.05$ p=.36 |
| | | あてはまらない (N=16) | 68.8 | 12.5 | 18.8 | |
| 大卒者 | ポスト期 | あてはまる (N=57) | 54.4 | 24.6 | 21.1 | $\chi^2=2.88$ p=.24 |
| | | あてはまらない (N=11) | 72.7 | 27.3 | - | |
| | 第2ロスト期 | あてはまる (N=90) | 84.4 | 12.2 | 3.3 | $\chi^2=.88$ p=.65 |
| | | あてはまらない (N=21) | 90.5 | 9.5 | - | |

図表 2-2-3 やりがいと転職経験との関係

| | | 単位：% | | | | |
|------------------|--------|----------------|------|------|------|------------------------|
| | | | 転職なし | 1回 | 2回以上 | |
| 短 大 卒 者 | ポスト期 | あてはまる (N=18) | 38.9 | 33.3 | 27.8 | $\chi^2=1.17$ p=.56 |
| | | あてはまらない (N=10) | 60.0 | 20.0 | 20.0 | |
| | 第2ロスト期 | あてはまる (N=55) | 74.5 | 2.0 | 54.5 | $\chi^2=5.0$ p=.08 |
| | | あてはまらない (N=23) | 56.5 | 21.4 | 21.4 | |
| 大 卒 者 | ポスト期 | あてはまる (N=94) | 86.2 | 10.6 | 3.2 | $\chi^2=1.17$ p=.56 |
| | | あてはまらない (N=17) | 82.3 | 17.7 | - | |
| | 第2ロスト期 | あてはまる (N=52) | 53.8 | 25.0 | 21.1 | $\chi^2=2.01$ p=.37 |
| | | あてはまらない (N=16) | 68.7 | 25.0 | 6.2 | |

図表 2-2-4 自分の能力や個性が生かせると転職経験との関係

| | | 単位：% | | | | |
|------------------|--------|----------------|------|------|------|------------------------|
| | | | 転職なし | 1回 | 2回以上 | |
| 短 大 卒 者 | ポスト期 | あてはまる (N=20) | 35.0 | 35.0 | 30.0 | $\chi^2=3.68$ p=.16 |
| | | あてはまらない (N=8) | 75.0 | 10.0 | 10.0 | |
| | 第2ロスト期 | あてはまる (N=57) | 71.9 | 21.1 | 7.0 | $\chi^2=2.78$ p=.25 |
| | | あてはまらない (N=20) | 65.0 | 15.0 | 20.0 | |
| 大 卒 者 | ポスト期 | あてはまる (N=52) | 53.8 | 28.9 | 17.3 | $\chi^2=1.79$ p=.41 |
| | | あてはまらない (N=16) | 68.7 | 12.4 | 18.7 | |
| | 第2ロスト期 | あてはまる (N=87) | 83.9 | 13.8 | 2.3 | $\chi^2=1.86$ p=.39 |
| | | あてはまらない (N=24) | 91.7 | 4.2 | 4.2 | |

図表 2-3-1 既婚者就業希望

| | 単位：% | | | | | | | |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|
| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
| | バブル期 (N=33) | ロスト期 (N=90) | ポスト期 (N=16) | 第2ロスト期 (N=10) | バブル期 (N=36) | ロスト期 (N=114) | ポスト期 (N=26) | 第2ロスト期 (N=6) |
| 今すぐ働きたい | 15.2 | 4.4 | 25.0 | 20.0 | 11.1 | 7.9 | 7.7 | 100.0 |
| 今は働けないがそのうち働きたい | 51.5 | 76.7 | 62.5 | 70.0 | 47.2 | 81.6 | 88.5 | - |
| 働きたいとは思わない | 33.3 | 18.9 | 12.5 | 10.0 | 41.7 | 10.5 | 3.8 | - |

図表 2-3-2 既婚者希望就業形態

| | 単位：% | | | | | | | |
|--------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|
| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
| | バブル期 (N=22) | ロスト期 (N=70) | ポスト期 (N=14) | 第2ロスト期 (N=8) | バブル期 (N=20) | ロスト期 (N=98) | ポスト期 (N=24) | 第2ロスト期 (N=6) |
| 正社員として働きたい | 4.5 | 7.1 | 14.3 | 87.5 | 5.0 | 14.3 | 20.8 | 33.3 |
| パートとして働きたい | 72.7 | 80.0 | 85.7 | 12.5 | 85.0 | 71.4 | 66.7 | 66.7 |
| 自分で事業を起こしたい | - | - | - | - | 5.0 | 2.0 | 4.2 | - |
| 自宅のできる仕事をしたい | 22.7 | 2.9 | - | - | 5.0 | 2.0 | 8.3 | - |
| その他 | - | 8.6 | - | - | - | 7.1 | - | - |

て働きたい」者が7～8割である（図表 2-3-2）

就業希望理由について、学歴に関係なく「バブル期」は「時間的余裕ができたから」、「ロスト期」以降は「将来に備えて貯金がしたいから」と回答する割合が高い（図表 2-3-3）。大卒者の「第2ロスト期」は「専門的知識・経験を活かしたいから」「家庭以

外の場所で認められたいから」と回答する割合が高く、卒業時期によって就業希望内容が異なる。

就業する上で重視する内容は学歴・卒業時期に関係なく「育児と両立できること」を重視する割合が高い（図表 2-3-4）。

図表 2-3-3 既婚者働きたい理由

単位: %

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|--------------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|
| | バブル期 (N=22) | ロスト期 (N=69) | ポスト期 (N=14) | 第2ロスト期 (N=9) | バブル期 (N=20) | ロスト期 (N=96) | ポスト期 (N=23) | 第2ロスト期 (N=6) |
| 再就職するつもりだったから | 4.5 | 1.4 | — | — | 5.0 | 8.3 | 13.0 | — |
| 将来に備えて貯金がしたいから | 9.1 | 34.8 | 50.0 | 44.4 | 35.0 | 29.2 | 26.1 | 16.7 |
| 社会貢献したいから | 4.5 | — | — | 11.1 | — | 1.0 | — | — |
| 自由に使えるお金が稼ぎたいから | — | 10.1 | 14.3 | 22.2 | — | 8.3 | 17.4 | — |
| 経済的余裕がないから | 13.6 | 18.8 | 14.3 | 22.2 | 10.0 | 14.6 | 8.7 | 16.7 |
| 働くのが好きだから | 4.5 | 1.4 | — | — | — | 7.3 | 4.3 | — |
| 時間的余裕が出来たから | 22.7 | 24.6 | — | — | 45.0 | 8.3 | 13.0 | — |
| 専門的知識・経験が生かしたいから | 4.5 | — | — | — | — | 4.2 | — | 33.3 |
| 社会から取り残されそうだから | — | — | — | — | 5.0 | 2.1 | 4.3 | — |
| 自分の能力を社会で活かしたいから | — | — | 7.1 | — | — | 3.1 | 4.3 | — |
| 家庭以外の場所で認められたいから | 13.6 | 1.4 | 7.1 | — | — | — | — | 33.3 |
| 家庭・家族以外の場所で活躍したいから | 4.5 | 2.9 | 7.1 | — | — | 5.2 | 4.3 | — |
| 自分の能力を楽しみたいから | 4.5 | — | — | — | — | 2.1 | — | — |
| やりがいのあることをしたいから | 13.6 | 4.3 | — | — | — | 4.2 | 4.3 | — |
| その他 | — | — | — | — | — | 2.1 | — | — |

図表 2-3-4 既婚者仕事をする上で重視すること

単位: %

| | 短大卒者 | | | | 大卒者 | | | |
|-----------------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|
| | バブル期 (N=34) | ロスト期 (N=92) | ポスト期 (N=17) | 第2ロスト期 (N=11) | バブル期 (N=33) | ロスト期 (N=112) | ポスト期 (N=25) | 第2ロスト期 (N=7) |
| 自分の個性や能力を生かせること | — | 2.2 | 5.9 | 18.2 | 6.1 | 2.7 | 8.0 | — |
| 自分のやりたい仕事であること | 8.8 | 12.0 | 23.5 | 9.1 | 24.2 | 9.8 | 12.0 | 28.6 |
| 給料が高いこと | — | 2.2 | — | — | — | 2.7 | — | — |
| 資格を生かせること | — | 2.2 | — | — | 9.1 | 2.7 | 4.0 | — |
| 休みが多いこと | 2.9 | 3.3 | — | — | 6.1 | 1.8 | — | — |
| 仕事を通して資格や技術が身につけられること | — | 1.1 | — | — | — | — | — | — |
| 地理的条件がよいこと | 5.9 | 4.3 | — | — | 3.0 | 2.7 | — | — |
| 育児と両立ができること | 29.4 | 60.9 | 52.9 | 63.6 | 12.1 | 67.0 | 72.0 | 71.4 |
| 長時間安定して働けること | 5.9 | — | 5.9 | — | — | — | — | — |
| 人や社会の役に立つこと | 5.9 | 1.1 | — | — | 3.0 | 1.8 | — | — |
| 人と接する機会が多いこと | — | 1.1 | — | — | — | 0.9 | — | — |
| 職場の雰囲気が良いこと | 17.6 | 1.1 | 5.9 | 9.1 | 9.1 | 0.9 | 4.0 | — |
| 好きな時間に働けること | 17.6 | 8.7 | 5.9 | — | 12.1 | 4.5 | — | — |
| 自分のやりたいことと両立できること | 5.9 | — | — | — | 15.2 | 1.8 | — | — |
| その他 | — | — | — | — | — | 0.9 | — | — |

6. まとめ

保育者の早期離職は継続傾向にあり、保育者の9割が女性であることから、女性の就業継続を検討するため、女性の離職・継続要因として先行研究で指摘されてきた「労働条件」「人間関係」「やりがい」などを未婚者の転職経験との関係から分析を行った。分析の結果、先行研究で指摘されてきた「労働条件」「人間関係」「やりがい」などと転職経験は有意な結果ではなかった。本研究の未婚者の半数以上が転職していなかったことなども要因と考えられ、女性の離職・就業継続は「労働条件」「人間関係」

「やりがい」などだけではなく、様々な要因が複合的に影響を与えているものと考えられる。

無業既婚者の多くは就業を希望し、学歴に関係なく卒業時期に応じて就業希望理由は異なり、「バブル期」は「時間に余裕ができた」こと、「第2ロスト期」は「専門的知識を活かしたい」と考えていた。仕事をする上で重視することは学歴・卒業時期に関係なく「育児と両立できること」と回答する者が最も多い結果であった。女性の就業には育児との両立が可能な職場環境や労働条件が必要であることが再確認できる。資格取得を目指して大学に進学し、身につけた資格を活かして仕事を継続できるこ

とが理想であることも明らかになった。

保育者は資格を必要とする職業であり、「やりがい」のある仕事であるが、早期離職する要因は「労働条件」「人間関係」だけでは説明できないように思われる。保育職を希望する学生のうち就職しても「すぐに辞める」予定であることを就職前から聞くことが多い。じっくり就職活動を行う場合には就職先を理解し、納得して就職するため、早期離職は考えにくい。就職活動を安易に終わらせる場合に早期離職する者が多いように思われる。就職活動前の大学や大学入学前の中学・高校時代からの職業教育が充実していることが重要と思われる。

本研究では様々な職業の女性を対象として分析したため、保育者の早期離職要因を十分に検討することができなかった。今後は早期離職する要因を様々な年齢層の保育者と離職者を対象に聞き取り調査を行い、先行研究で指摘されてきた要因以外の離職要因について検討していくことが課題である。

<注>

- (1) 「保育・幼児教育の第一人者、無藤隆先生に訊く！保育所保育指針改定のポイントから読み解く、保育の専門性とは」『Florence』<https://florence.or.jp/news/2017/11/post20954/>
- (2) 新幼稚園教育要領のポイント http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/044/001/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2017/08/28/1394385_003.pdf#search=%27%E5%B9%BC%E7%A8%9A%E5%9C%92%E6%95%99%E8%82%B2%E8%A6%81%E9%A0%98%E6%94%B9%E8%A8%82%27
- (3) <https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11601000-Shokugyouanteikyoku-Soumuka/0000057898.pdf#search=%27%E4%BF%9D%E8%82%B2%E5%A3%AB%E9%9B%A2%E8%81%B7%E7%8E%87%27>
- (4) 「保育士等に関する関係資料」平成 27 年 https://www.hoyokyo.or.jp/nursing_hyk/reference/27-2s6-13.pdf#search=%27%E5%8E%9A%E7%94%9F%E5%8A%B4%E5%83%8D%E7%9C%81+%E4%BF%9D%E8%82%B2%E5%A3%AB+%E9%9B%A2%E8%81%B7%E7%8E%87%27
- (5) 厚生労働省「主な人手不足職種に関するハローワーク求職者の免許・資格の保有状況（労働市場分析レポート第 3 号）」「保育士資格を有しながら保育士としての就職を希望しない求職者に対する意識調査」（平成 25 年）<https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11601000-Shokugyouanteikyoku-Soumuka/0000057898.pdf#search=%27%E4%BF%9D%E8%82%B2%E5%A3%AB%E9%9B%A2%E8%81%B7%E7%8E%87%27>
- (6) 平成 28 年 9 月 1 ヶ月分の平均給与月額（本俸のみ、諸手当及び調整額除く）
- (7) 採用は新規卒卒者、民間企業、非常勤講師から採用。転入は設置者を問わず、高等学校以下の学校の本務教員からの学校間の異動。離職は定年（勧奨）退職、病気・志望による退職、自己都合退職教員以外の転職、大学等の江東教育期間の教員への異動及び教育委員会への異動。
- (8) 川俣 2018、344 頁。
- (9) 川俣 2018、344-347 頁。
- (10) 調査は、大学卒業生の会の許可を得た卒業生名簿を使用して郵送調査を実施した。調査は、科学研究費基盤研究補助金（（基盤研究（C）平成 23～25 年度「高等教育における女性の職業キャリア」）の研究の一環として実施されたものである。
- (11) 偏差値は 2012 年 Benesse 偏差値区分参照。
- (12) 職業系女子大学の学生には、より威信の高い職業への就職や長期間就業を希望し、職業と家庭の両立を希望する者が多い。一方、教養系女子大学の学生は、より短期間の就業や家庭・育児優先的なライフコースを希望する者が多い。中間的女子大学の特徴は、職業系女子大学の学生の志向と教養系女子大学の学生の志向をもつことである。具体的には、職業選択で重視する事柄は職業系女子大学の学生と類似の傾向を示すものの、配偶者に希望する事柄は教養系女子大学の学生と類似する。また、職業系女子大学の学生と同様に、職業と家庭の両立を希望する者が多い（中西 1998）。
- (13) A 女子大学の建学の精神には、「女性自らの力の上のうち立てられるよき妻であり、やさし

い母であり、そして力強い職能人である『新しい日本の女性像』を待望」することが記されている。

- (14) 調査対象者には2013年3月卒業者も含まれるが、職業経歴を把握するために、本研究では卒業後数年経過した25歳以上から50歳までの女性を対象とした。
- (15) 子ども0人(15.2%)、1人(25.6%)、2人(44.6%)、3人以上(14.6%) 平均1.60人である。

<引用・参考文献>

- 川俣美砂子 2018「幼稚園教諭の離職と継続の理由を探る」『高知大学教育学部研究報告』第78号、343-355頁。
- 谷川夏美 『保育者の危機と専門的成長』学文社。
- 本田由紀 2010a, 「日本の大卒就職の特殊性を問い直す」荻谷剛彦・本田由紀編『大卒就職の社会学』東京大学出版会。
- 2010b, 「若者にとって働くとはいかなる意味をもっているか」小谷敏・土井隆義編『「若者の現在」労働』日本図書出版。
- 中西祐子 1998, 『ジェンダー・トラッカー-青年期女性の進路形成と教育組織の社会学-』東洋館出版。
- 中野円佳 2014, 『「育休世代」のジレンマ-女性活用はなぜ失敗するのか?』光文社。
- 筒井美紀 2010, 「中堅女子大生の就職活動プロセス-活動機関と内定獲得時期の規定要因-」荻谷剛彦・本田由紀編『大卒就職の社会学』東京大学出版会,107-128頁。

本研究はJPSS 科研費 23531138 の助成を受けました。

